

【件名】

植木小学校での授業参観について

【内容】

11月28日に植木小学校での授業参観に参加しました。

普段は勤務があり学校にいけないため、当日は先生がどのような授業をしているのか、子供たちがどんな様子でいるのかを授業参観を通して見れることを期待してました。しかし、授業参観は、外部講師による講演を児童と一緒に聞くもので、先生の授業も見れず、子供たちの教室での様子もまったくわかりませんでした。

校長先生に伺ったところ「これも授業ですから」「外部講師の日程がこの日しかありませんでしたから」とのことでした。

本来、授業参観とは普段授業に参加できない保護者が学校の様子を知る機会ではないでしょうか。

こうした「授業参観」を見ると、教員が保護者の前で授業するのを逃がっているのではないか、あるいは授業が成立していないからこのような「授業参観」するのではとの疑念を持たざるを得ません。

以上、鎌倉市並びに市教育委員会の考え方について伺いたく存じます。

なお、外部講師の講演は大変有意義であったことを申し添えます。

【回答】

このたびの土曜参観では、担任の授業をご覧いただけず、申し訳ありませんでした。

参観授業での外部講師による講演内容の予定は、ねらい等を含め、事前にお知らせしたところであります。

今回のねらいは、近年、情報社会の急速な発展により、インターネットの掲示板や携帯電話のメールによるいじめにつながる使い方や、営利を目的とした犯罪等に子どもたちが巻き込まれるといったことが大きな課題となっています。そのため、子どもだけでなく、保護者の方にも知っていただき、子どもと一緒に考えていただきたいという設定です。

ご指摘のとおり、授業参観は普段の子どもたちの様子を保護者、地域の方々に知っていただく貴重な機会であると考えます。

今後、土曜日の参観のあり方についても、保護者の方がより参観しやすい形を工夫するよう学校に伝えてまいります。

なお、鎌倉市内の学校では、通常の授業参観のほかに、学校へ行こう週間として、年に1回、学校公開日を2日から3日間日程で設定しております。その日は、一日中授業を公開しており、すべての学級の授業をはじめ、子どもたちの生活の様子等をご覧いただける機会としております。

平成28年1月7日対応／回答